

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

あうん

日付

平成20年1月8日  
特定非営利活動法人

**評価機関名**

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験9年

評価調査員 在宅介護経験13年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

歴史のある会社や学校に社風や校風が感じられるように、グループホームも数年経過すると少し入っただけでも独特の風合の様なものを感じることがある。このホームの“あうん”特有の肌触りのような感触は到る所で伝わってくるが、先ず取り立ててどうと言う事もない住人の会話から、お互いの動きから、笑い合う姿から感じられる。「頼んだで」「よろしくね」「私に教えて」「やって、やって」と皆のやる気を起こさせようとする職員と、「サンキュー」「めし、めし、めし食おうか」「こんな所におりとうねえ」等、自分を自由に表現している利用者が、対等の「あうんの住人」になっている事。そして、このホームの理念として大きく掲げ続けている「一人ひとりを、思い切り特別扱いしよう」という職員の思いが次々と実現していることだ。ここでは常識の枠を遙かに越えた挑戦が見受けられると同時に、特別扱いをした人の周辺の利用者への配慮も心憎い程だ。

しかし、こういった一見大らかで自然体にも感じられる理念具現の内側には細やかで徹底したサービス業務がある事を忘れてはならない。職員はゆったり構えているように見えて、「気付き」のアンテナを張り巡らし「これは！」と思う事をその場でメモする。今のこの人の言葉や動きは大切かも？と思えた事は記録やカンファレンス、そして、ケアプラン、さらに「あうん便り」にもつないでいく。センター方式のケアプランのシートをあうん流に上手く使いこなし、日頃の職員の気付きをきちんと取りこんでいる。抽象的な表現ではなく、その時の情景が手に取るように分かるような記録となっているので、誰が見ても次へのステップを想像する事ができる。また、管理者の職員へのアドバイス、指導が的確でいちいち頷ける。具体的で分かり易く、指示の言葉は短い、すべて理念に通じるものと思われる。これだけのリーダーシップが記録からも受け取れる所はあまり多くないように感じられる。

グループホームはそれぞれ独自の雰囲気をもっていて良いと思う。ただ、このホームのように「とことん、利用者本位を優先させよう」「その人がやりたいように何が何でも実現させよう」そして、「家族や地域の人達とも一緒に楽しみながら」といった風合いが感じられる所は、私が理想とするグループホームである。

特に改善の余地があると思われる点

このグループホームあうんの「のびのび楽しい第二の我が家」が軌道にのり、ケアサービスのあり方も確立しつつある現在、更なる事業の拡大、発展を目指して、第二、第三のリーダーを養成していただきたい。あうん流のケアをもっと広めていただく為に。

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…改善項目としては挙げられていないが、日々より高いレベルのケアを念頭に置いて自分達の言動をチェックしようとしている。</p> <p>2. 全体的に見て…「一人ひとりを特別扱いしよう。自分の力でできる喜びと達成感のある暮らしを、あうんの呼吸で応援しよう」を目指して、介護者・利用者という関係でなく、「一緒に暮らす人」の間柄を作り上げようとしている。それぞれの人が自分の思いをのびのびと発揮し、それをうまくキャッチし、活力のある積極的な生活に結び付けようとするコミュニケーションや仕掛けが、スタッフの言動から多く読み取れる。利用者が言いたい事を言い、やりたい事をやり、満たされていく中に現れる生き生きとした表情は、今日の訪問の中で見られただけでなく、廊下等に掲示された写真の表情からもよく伺えた。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主的に見て…改善項目なし</p> <p>2. 全体的に見て…リビングルーム等には色々な工夫があり居場所がある。また、落ち葉や石等、毎日の散歩やお出かけの時に収集したものを巧みに居室内やリビングルームに飾り続ける。さんを職員は「ね、すごいでしょ。この集中力と綿密さ。それにレイアウトの能力…」と褒め称える。不衛生にならないようにとか他の利用者に大きな迷惑をかけないように、職員はさんに分からない工夫もしながら、この人の思いと能力・やる気をしっかり支援している。これはこのホームの「一人ひとりを特別扱い」の一例だが、こういった姿勢や支援があるからこそ、入居時暴言・暴力があったり、激しい混乱や不穏状態が続いた利用者も、次第に落ち着きを取り戻しているのだろう。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…特に無いが、このホーム程一人ひとりの力や経験を日々の生活の中に活かしている所は、他にあまり見られないのではと思う。</p> <p>2. 全体的に見て…「家では日々駄目になっていたのに、ここでは別人みたいになっている」という家族の話もあるように、一人ひとりとスタッフがしっかり向き合い、その人の意向に沿ってできる事は見守り、支援が必要とあれば手助けをしている。「できた!」という達成感が感じられるような場面も設定している。写経ができる人も何人が居て、家族会に展示する予定と聞いた。また、それぞれの希望を叶える為に積極的に外出するチャンスを作り計画し、楽しい体験を一杯している。普段の暮らしでは障害の違いはあるが、自分流の楽しみ方、過ごし方が続いている。だから、昨年の外部評価時と、利用者の状況にあまり変化が見られないだろう。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1. 自主評価について…現段階では具体的な改善案は出ていないが、将来的にはケアプラン、その他の記録を改善していきたいという話を聞いた。自分達が本当に使いやすい改善は、良い下地ができているので大いに進めていって欲しい。</p> <p>2. 全体的に見て…「自分ひとりで散歩したい」と思っている。さんには職員が気付かれないうちに後に続く。地域の人はよく理解してくれていて「あっ、来てるんじゃないか」と声かけしてくれたり、庭に入って何か拾っても見守ってくれる。こんな日常だけでなく、行事の中でも特に夏祭りは家族だけでなく、十数名のボランティアや多数の地域隣人の応援があり、共に楽しんでいる。家族や地域社会との交流が深まれば深まるほど「私達のグループホーム」「この地域になくてはならないグループホーム」となり、何か問題が発生したとしても、解決への道は見つけやすいだろう。サービスの質の向上へ向けたスタッフの努力も、よく理解して頂けるに違いないと思う。</p>		